

地域の実情を踏まえた体験学習事業

たかとお森の楽校

～ 森と木の環境教育プログラム ～



国立信州高遠青少年自然の家は、森に囲まれた施設であり、様々な動物や野鳥などを観察することができます。森は私たち人間のみならず、多くの生き物の暮らしを支えています。当施設に来て、ぜひ、森や木を十分に体感し、知ってほしいと考えています。

当施設から「たかとお森の楽校～森と木の環境教育プログラム～」として「森林の多様性を知るプログラム」と「木材資源の有用性を知るプログラム」を新規プログラムとして紹介します。これらのプログラムを活動に取り入れることで、森の役割や大切さを知り、資源としての木の有用性について学んでみてはいかがでしょうか？

国立信州高遠青少年自然の家

森林の多様性を知るプログラム

目的・ねらい

森林には陸上の動植物の8～9割の生物が生息しているといわれている。森林の樹木や植物、そこに生息する動物・昆虫・野鳥を観察し、森林の生物の多様性や生物間の関わりを知り、体感することで、森林の役割や大切さを学ぶ。

対 象 小学生高学年以上

活動内容

森林は多くの樹木が生育している場所だが、植物だけではなく動物も多く住んでおり、陸上の動植物の8～9割が生息しているといわれている。そして、森林の中では様々な生物が互に関わりあいながら暮らしている。そのような森林内での生物の関わりや生物の多様性についての話をした後に、以下のプログラムから2つ以上選択し実施する。

活動	内容	実施可能人数	所要時間	備考
野外でビンゴ	ビンゴシートのマスに書かれた自然に関する事象を発見し、より多くの「ビンゴ」を目指す活動。	—	約1時間	活動シート等あり。
グリーンアドベンチャー	施設内の樹木を歩きながら観察し、樹木と触れ合い樹木のことを知る活動。	—	約1時間 30分	活動シート等あり。
自然観察	施設内を散策し、動植物・昆虫等の観察を行う。団体独自での実施も可能だが、自然観察の指導員を依頼することもできる。	—	2～3時間	指導員1人で30人指導可能。指導料は指導員1人5000円。
野鳥観察	施設内を散策し、双眼鏡を使い野鳥観察を行う。団体独自での実施も可能だが、自然観察の指導員を依頼することもできる。	60人	2～3時間	指導員1人で20人指導可能。指導料は指導員1人5000円。
水生生物観察	施設内を流れる硫黄沢や少し離れたところにある松倉川で水生生物（主に水生昆虫）を採取し観察する活動。団体独自での実施も可能だが、自然観察の指導員を依頼することもできる。	60人	約2時間	指導員1人で30人指導可能。指導料は指導員1人5000円。 活動シート等あり。
ナイトハイク	夜に行うハイキング。危険のない範囲で暗闇の中で歩いたり、途中、全員で懐中電灯を消したりと、暗い夜を体験し、昼間とは違う夜の森を感じるプログラム。	—	約1時間	

最後に「まとめ」として、同じ森林内に生息する生物どうしがどう関わりあっているのか、生物多様性がなぜ大切なのかについて話をする。

木材資源の有用性を知るプログラム

目的・ねらい

木材資源は伐採後に植林すれば再生産可能で、また木の成長に伴い二酸化炭素を吸収し大気中の二酸化炭素を増加させることなく利用できる「持続可能な資源」である。その資源としての木材の有用性を知ることで、森林保全の大切さや環境負荷が少ない生活について考える機会とする。

対 象 小学生高学年以上

活動内容

木材資源は伐採後に植林すれば再生産可能で、また木の成長に伴い二酸化炭素を吸収し大気中の二酸化炭素を増加させることなく利用できる「持続可能な資源」である旨の話をした後に、以下のプログラムから2つ以上選択し実施する。

活動	内容	実施可能人数	所要時間	備考
樹木の香りスプレーづくり	クロモジ・アカマツから香り成分を抽出したものを（アロマウォーター・アロマオイル）を配合しオリジナルの香りスプレーを作る。	10人～30人	約2時間	体験料（材料費・指導料込）は一人当たり500円。
丸太切り体験	のこぎりを使い丸太を切る活動。希望により、切った材料でのクラフトも可能。	～30人	30分～1時間	事前相談が必要
木材を使うクラフト	マイはしづくり・スベラップ・木のコースターづくり等のクラフト活動。	—	2～3時間	活動ごと材料費が必要。
木のハガキを送ろう	木のハガキにメッセージを書き、自然の家から自宅等へ送る。	—	1～2時間	事前相談が必要
野外炊飯・焚火（キャンプファイヤー）	野外炊飯や焚火（キャンプファイヤー）の際に、燃料としての木に注目させ、木が化石燃料よりも環境への負荷が少ないということに触れる。（カーボンニュートラル）	—	野外炊飯 3～4時間 焚火（キャンプファイヤー） 1～2時間	<野外炊飯> 食材費・野外炊飯施設使用料（200円）・薪代（1束600円）が必要。 <キャンプファイヤー> 薪代（1束650円）が必要。
ログハウス宿泊体験	宿泊棟がログハウスであることを活かし、ログハウスで宿泊することで、材料としての木の特徴を感じとる活動。（木材のよさや炭素貯蔵効果など）	—	—	ワークシートあり。

最後に「まとめ」として、同じ森林内に生息する生物どうしがどう関わりあっているのか、生物多様性がなぜ大切なのかについて話をする。

少しでも気になる方は、ぜひ信州高遠青少年自然の家までお問い合わせください。
これらのプログラムについては、新規プログラムであるため、職員の方でも、活動のサポートさせていただきます。ご相談ください！！

ご相談に応じて、記載のものだけではなく、「森林の多様性を知るプログラム」と「木材資源の有用性を知るプログラム」の2つのプログラムを合わせたようなプログラムも検討できます。質問・ご意見・ご要望があればぜひ、連絡ください。

<活動プログラム例（2つのプログラムを合わせた活動）>

森の中の自然観察(ハイキング)と樹木の香料スプレーづくりを取り入れたプログラム。

クロモジ・アカマツの香料スプレーづくり体験

目的・ねらい

樹木について「木の香り」という観点で体験し、学び、考えることで、木に対する興味・関心を高める。森の大切さについて考える機会とする。

対象・実施人数 小学生高学年以上 ・ 10 ～ 30人

活動内容

この活動は、クロモジの群生地までのハイキングと香料スプレーづくりができるプログラムである。

①全体説明（10分程度）

森の大切さ、資源としての樹木についての話をします。

②クロモジ群生地見学（往復 150分程度）

自然の家から森の中の道を抜け、1時間ちょっと歩くとクロモジの群生地に着く。

群生地でクロモジやアカマツについての話をし、観察・採取し、戻る。

※ 帰路についてはバスを利用すると80分程度。

※ クロモジ群生地から10分程度で「千代田湖」に着くため、そこでお弁当を食べたり、少し休憩したりすることも可能。

※ 自然観察指導員を依頼する場合は、別途指導料が必要。

③自然の家に戻り、クロモジ・アカマツの香り成分を抽出したもの（アロマウォーター・アロマオイル）を独自に配合し、樹木の香りスプレーをつくる。（60～80分程度）

※ 樹木の香料スプレーづくり体験は、一人当たり500円の体験料（材料費・指導料込）が必要。

お問合せ先

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職

住所 : 〒396-0301 長野県伊那市高遠町藤沢 6877-11

TEL : 0265-96-2525 FAX : 0265-96-2151

メール : takato-kikaku@niye.go.jp HP : <https://takato.niye.go.jp/>